

山梨県アパレル工業組合

外国人研修生事業
開設5周年記念事業開催

ACTIVE KUMIAI

山梨県アパレル工業組合(川手正紀理事長)は、去る12月22日甲府市塩部ニュー芙蓉において、日中友好と研修事業の発展を期する会を開催した。このイベントは本組合が実施している、外国人研修生共同受入事業」の開設5周年を記念して行われたもので、中国の送り出し機関を始め、関係機関の代表者、更には研修生・実習生(3)5期生の54名(全員)が出席し行われた。

平成16年に第一期生

6名でスタートした「外国人研修生共同受入事業」は、今年11月4日に第5期生19名(7社)を迎えた。

全国でも不正行為など様々な問題がある中で、本組合は技能継承のための労働力確保第一歩」を目的に掲げ、アパレル産業発展のために技術指導をおこない、多くの実習生が育っている。また最近では、全国でも先進事例として取り上げられるなど、本事業を通じて多方面から注目されている。

今回のイベントは3部形式で行われ、第1部「開設5周年記念式典」では、(財)国際研修協力機構の佐田道明専務理事など、関係機関代表者から激励の言葉・祝辞が述べられた他、3~5期生のそれぞれの代表者から日頃の感謝の言葉が述べられた。また、研修生の中から、日本語作文コンクールの優秀者に表彰状・記念品などが手渡された。第2部の組合執行部と関係者機関代表者との意見交換会では、外国人研修生共同受入事業に対する様々な問題について情報交換が行われた。第3部の出席者全員による懇親会パーティーでは閉めくられた。

活発な意見交換が行われた



研修生・実習生54名

